

PAT-NO: JP404286582A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04286582 A

TITLE: INFORMING DEVICE FOR ELEVATOR

PUBN-DATE: October 12, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SUZUKI, OSAMU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MITSUBISHI ELECTRIC CORP

N/A

APPL-NO: JP03074654

APPL-DATE: March 14, 1991

INT-CL (IPC): B66B003/00

US-CL-CURRENT: 187/392, 187/397

ABSTRACT:

PURPOSE: To inform a person permitted to use an elevator of an elevator operating audio message in his language.

CONSTITUTION: A card reader 1 reads (S-2) a language code as well as an ID number written in an ID card, and informs (S-5) an elevator user in a cage of an audio message 'Register a cage call' in Japanese from a voice synthesizing device 14 through a speaker 15 if the language code is Japanese (S-3). If the language code is English, the audio message is informed in English (S-6). Consequently, the safety in a personal elevator can be maintained, and attentive operation to the elevator user can be performed.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-286582

(43) 公開日 平成4年(1992)10月12日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 6 B 3/00	Z	7814-3F		
	F	7814-3F		
	L	7814-3F		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号	特願平3-74654	(71) 出願人	000006013 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
(22) 出願日	平成3年(1991)3月14日	(72) 発明者	鈴木 修 愛知県稲沢市菱町1番地 三菱電機株式会 社稲沢製作所内
		(74) 法定代理人	弁理士 曾我 道照 (外6名)

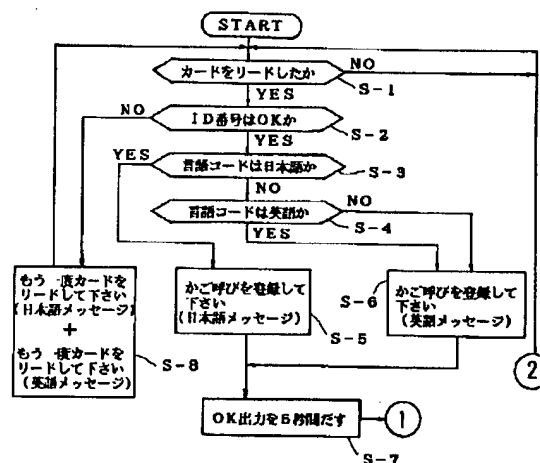
(54) 【発明の名称】 エレベータの報知装置

(57) 【要約】

【目的】 この発明は、エレベータ利用が許可された人に、当人が使用する言語でエレベータの操作メッセージを音声報知するものである。

【構成】 カードリーダ1はIDカードに書き込まれたID番号とともに、言語コードを読み出し(S-2)、言語コードが日本語であれば(S-3)、かご内のエレベータ利用者に、音声合成装置14よりスピーカ15を通して日本語にて「かご呼びを登録して下さい」という音声メッセージを報知する(S-5)。この言語コードが英語であれば音声メッセージを英語にて報知(S-6)。

【効果】 この発明によれば、個人エレベータにおける安全性が保持できるとともに、エレベータ利用者に気配り運転が行える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 エレベータ利用者のID判別情報に基づきID判別を行い、該ID判別結果に従ってエレベータ利用許可信号をエレベータ運転手段に出力するID判別装置を備えたエレベータ装置において、上記ID判別情報にID判別者の使用言語情報を含ますとともに、上記ID判別装置に、ID判別良好時に、判読し使用言語情報に対応した言語でエレベータ運転案内メッセージを報知するメッセージ報知手段を備えたことを特徴とするエレベータの報知装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明はエレベータの運転案内をエレベータ利用者使用の言語にて報知するエレベータの報知装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、ID判別結果に従ってエレベータの利用を許可された人のみが利用するエレベータにおいては、エレベータの操作方法を音声案内する場合、案内は日本或は英語の何ずれかの言語で行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の音声案内は予め設定された言語にて行っていたため、設定言語の何れも理解しない人にとって極めて不親切な案内であり、エレベータの操作に戸惑うといった問題点があった。この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、エレベータの操作案内をエレベータ利用者が使用する言語で行うことができるエレベータの報知装置を得ることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 この発明に係るエレベータの報知装置はエレベータ利用者のID判別情報に基づきID判別を行い、該ID判別結果に従ってエレベータ利用許可信号をエレベータ運転手段に出力するID判別装置を備えたエレベータ装置において、上記ID判別情報にID判別者の使用言語情報を含ますとともに、上記ID判別装置に、ID判別良好時に、判読し使用言語情報に対応した言語でエレベータ運転案内メッセージを報知するメッセージ報知手段を備えたものである。

【0005】

【作用】 この発明によると、ID判別装置はID判別時に読み取ったID情報より、エレベータ利用者の使用言語を判読し、その使用言語に従ってエレベータの操作案内を報知する。

【0006】

【実施例】 以下、この発明の一実施例を図について説明する。図1の(a)は本実施例におけるエレベータ操作盤の構成図である。図において、1は正面にカードリーダーヘッド14を備えたカードリーダー、2はかご呼登録部1F～6Fを備えたかご内操作盤である。同図の(b)

は上記カードリーダー1の内部構成図であり。その構成としてマイクロコンピュータを構成するCPU11、ROM12、RAM13と、カードリーダーヘッド14、音声メッセージを合成しスピーカ15へ出力する音声合成装置14、エレベータ制御盤へ制御信号を出力するインタフェース16、ID判別結果に従って励磁し、接点を閉成するOKリレー17を内蔵している。

【0007】 図2はかご内操作盤2のかご呼び登録部1F～6Fの操作に回答して作動するかご呼び登録回路であり、図において、17aはカードリーダー1によるID判別結果がOKの時に閉成する常開接点、1FB～6FBは1階ないし6階のかご呼び登録部、P1F～P6Fは1階ないし6階のかご位置スイッチ接点、1C～6Cは1階ないし6階のかご呼びリレー、1Fa～6Faはかご呼びリレーの常開接点である。

【0008】 次に、上記構成に従って本実施例の動作を図4、図5のフローチャートをも参照して説明する。まず、エレベータ利用者は、エレベータかごに乗り込んだ際、かご内のカードリーダー1のカードリーダーヘッド14にIDカードを挿入する。CPU1はカードリーダーヘッド14を通してIDカードを読み取ったことを判定したならば(S-1)、ID番号を予め登録した正規の番号であるか判定する(S-2)。その結果、正規の番号でないことが判明したならば、音声合成装置14よりスピーカ15を通して、エレベータ利用者に、先ず日本語にて「もう一度カードをリードして下さい」という音声メッセージを流し、次に英語にて同じ内容の音声メッセージを流す。

【0009】 また、ステップS-2にてID番号が正規の番号であることが判明したならば、ID番号中の言語コードを判読し言語コードは日本語か、すなわちエレベータ利用者の使用言語は日本語であるかを判定し(S-3)、日本語であれば音声合成装置14よりスピーカ15を通して「かご呼びを登録して下さい。」という音声メッセージを日本語にて流す(S-5)。あるいは、言語コードが日本語でなく英語、或は他の言語であることが判定されたならば(S-4)、上記音声メッセージを英語で流す(S-6)。各音声メッセージを流した後、CPU11はインタフェース16を通してOKリレー17へ励磁信号を5秒間出力する。

【0010】 OKリレー17が励磁し、常開接点17aが閉成した後、エレベータ利用者は音声メッセージに従って、例えば6階のかご呼び登録部6FBを押下すると(S-9)、6階のかご呼びリレー6Cはかご位置接点P6Fを通した励磁電流を受けて励磁するとともに自己接点6Faを閉成し、かごが6階に到着するまで(+)常開接点6Fa-かご位置接点P6F-かご呼びリレー6C-(-)による自己保持回路が構成され、6階へのかご呼び登録がなされる(S-10)。

【0011】 次に、エレベータかごはかご呼びによって

3

6階へ走行し(S-11)、6階に到着すると(S-12)かご位置接点は開放し(S-13)、自己保持回路が解かれかご呼びレレー6Cが消磁する。

【0012】この発明は上記実施例に限定されず以下のような態様でも同様の効果を奏する。日本人/外国人の区別は言語コードによらず何らかの判別方法で区別できればどんな方法で実施しても良い。IDNGの時のアナウンスはいずれか一方の言語で話しても良い。言語は英語以外にスペイン語、中国語その他の言語に対しても同様にでき、3ヶ国語以上の人が利用する時も同様にできる。

【0013】音声以外に表示装置を言語分設け、それを使ってガイダンスできることは言うまでもない。

(例) OK→許可 NG→不許可

ID判別装置は磁気、IC、光等のカード以外に、テンキー、指紋、声紋等いずれのID判別装置を使っても良く、又、それらを単独で、或は組み合わせて使っても良い。かご呼び以外に乗り場呼びに対しても同様に実施できることは言うまでもない。

【0014】

【発明の効果】以上のように、この発明によれば、ID

4

判別結果に従ってエレベータの利用を許可するとともに、エレベータ利用者の使用言語によってエレベータ運転案内メッセージを報知する構成としたので、個人エレベータにおける安全性が保持できるとともに、エレベータ利用者に気配り運転を行える効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例におけるかご内操作盤の外観図とカードリーダーの構成図である。

【図2】本実施例におけるかご呼び登録回路の構成図である。

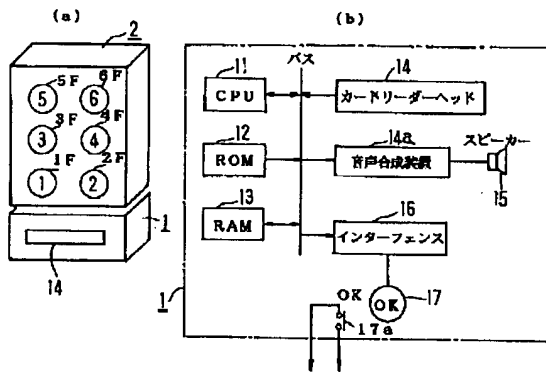
【図3】本実施例の動作を説明するフローチャートである。

【図4】本実施例の動作を説明するフローチャートである。

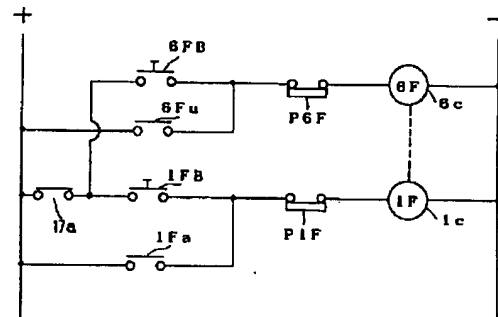
【符号の説明】

- 1 カードリーダー
- 2 かご内操作盤
- 11 CPU
- 14 音声合成装置
- 15 スピーカ

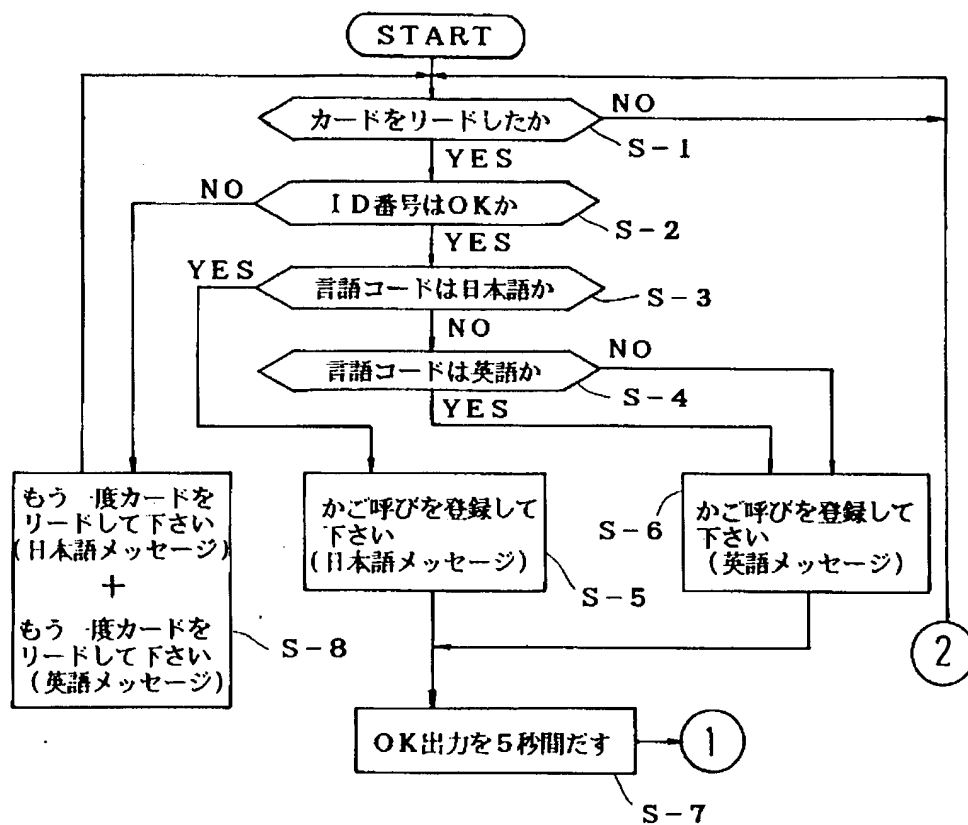
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

